

地域主体のサロン活動への支援を通じて、地域の高齢者の孤立予防と地域を支える人材を育てる。

☞**取り組み内容のポイント**☞ 主体的にサロン活動を行なえる地域の担い手を育成することに主眼を置き、企画運営をする際の助言や情報提供を行っていく。また地域の高齢者の孤立予防をする。

静岡県

社会福祉法人

聖隷福祉事業団

〒430-8558 静岡県浜松市中区住吉 2-12-12

TEL：053-413-3300 FAX：053-413-3314

●法人創立年

昭和5(1930)年

●法人実施事業

- ①経営施設数合計：120施設
②経営施設・事業【種別毎の数】：
特別養護老人ホーム…15、保育園…10、訪問看護ステーション…15、有料老人ホーム…11、病院…6、健診施設…3、介護老人保健施設…3、軽費老人ホーム…3、その他…54

●法人の理念・経営方針

- <基本理念>キリスト教精神に基づく「隣人愛」
<使命>・いのちと尊厳のために
・利用される人々のために
・地域社会とともに
・未来を築く
・最高のものを

●取り組みの定款・事業計画上の位置づけ

- ①定款への記載：記載していない
②事業報告・計画への記載：記載している

●取り組みを実施している施設の概要

- 【施設名】：みどりの郷 いなさ愛光園
〒431-2207 静岡県浜松市北区引佐町東黒田 37-2
TEL：053-544-0783 FAX：053-544-0888
【施設種別及び利用定員】：
特別養護老人ホーム：定員70名、短期入所生活介護：定員20名、通所介護：定員35名、認知症対応型通所介護：10名、認知症対応型共同生活介護：定員9名
在宅介護支援センター（居宅介護支援事業含む）、ヘルパーステーション、配食サービス

●活動内容

- ◇活動開始年：平成22(2010)年12月
◇活動の対象者：地域の高齢者（要支援・介護状態でない方）
◇活動の頻度・時間
毎月1回（お盆、年末はお休み） サロン活動開催日に活動

◎活動実施の背景、実施にいたった理由

当施設いなさ愛光園は中山間地域に位置しており、この地域の高齢化率は35.8%と高齢化が進んでいる状況である。ゆえに日中独居を含む独居高齢者が急増している。土地柄、近隣地域までも遠く公共交通機関も十分に無いため、外出もままならない高齢者が多い。このような背景から、地域高齢者の介護予防、生きがい作り、ふれあいの場、相談、地域のネットワークづくりを目的として地域住民を対象に公民館などを利用し、支援活動を開設以来15年に渡り行ってきた。

平成22(2010)年12月にこの地域のA地区(高齢化率28.8%)の住民ボランティアの方から、「自分たちの地域に住む高齢者のさみしさや不安が少しでも解消され、楽しい時間を過ごせるようにサロン活動を行いたいので協力してほしい」との相談があった。この活動が高齢者の孤立を防ぎ、地域のセーフティーネットの構築につながると考え、住民主体の活動を具現化するためにノウハウを伝

え、相談、助言をしながら毎月の活動を一緒に行うこととなった。

◎実施内容

活動メンバー：地域の女性ボランティア（6名）、在宅介護支援センター職員
対象者：地域の高齢者（要支援・介護状態でない方）
開催日時：毎月1回（盆、年末はお休み）
午前10時から午後2時半ぐらいまで
場所：地域の公民館・センター等
活動内容：フラワーアレンジメント、人形劇、各種レクリエーション、ドライブ企画、講話等を主に午前中に実施。昼食を挟み、午後は在宅介護支援センター等の職員による介護豆知識、脳活性を目的としたゲームや体操の実施。高齢者同士の交流、世間話や相談の場として提供。

◎活動効果 (利用者や職員、地域などの反応、影響)

当初は10人に満たない参加者であったが、回数を重ねるごとに参加が増え、常時20名程度の参加となっている。活動メンバー（地域の女性ボランティア：以下メンバー）も増えている。継続的に活動することで、参加者の状態についても関心を持つようになってきている。

行政等の補助金も無いため、メンバーが各々のネットワークを駆使し積極的に地域にある手芸等の技能ボランティア等の資源を活用し、活動の輪が広がってきている。回を重ねるごとに、参加者から「楽しい」「また来たい」との声が上がっており、メンバーたちの達成感ややる気も高まって



サロン活動の様子1



サロン活動の様子2



サロン活動の様子3

いる。「こんなことはどうか」「あんなこともやってみてみたい」などアンテナを高くし、新しいものを取り入れるなど、参加者のみならずメンバーたちの生きがい活動、仲間作りにもつながってきている。地域でお互いを支えあう意識も高まってきている。

◎今後の展開

引き続き、メンバーが主体的に活動を継続できるように協力していく。その一方で、運営基盤をより強固にしていけるように行政に働きかけるなどの支援も継続していく。

中山間地域におけるサロン活動がこれをきっかけに各地区に根ざしていき、点から線につながっていくことが理想であると考えている。この活動がさらに発展し、行政、民生委員、自治会等を巻き込みながら地域のセーフティーネット構築の足がかりになればよいと考えている。

◎主な経費や財源及び人員等

- ・取り組みに係わった職員数〔延べ10〕名
（職種等：在宅介護支援センター職員）
人的支援として、月に1～3名の参加
- ・取り組みを実施している施設の事業規模（平成23（2011）年度決算の事業活動収入）〔663,733〕千円
※法人全体の事業規模（同上）〔92,437,111〕千円



サロン活動の様子4